

令和5年度 京都府生物多様性ビジネスモデル可能性調査業務 業務評価基準

1 評価基準

項目	細項目	評価の着眼点	配点
全体の評価	本事業に対する提案者の認識・理解	本業務の趣旨及び目的に関する理解・知識が十分にあるかどうか。	10
	提案内容の的確性	仕様書を的確に踏まえ、明確かつ具体的に提案されているか。	10
		事業を効果的・効率的に実施するための提案がされているか。	10
提案項目	適格性	自然資源や地域資源等を踏まえ、新たなビジネスの創出につながる可能性を見出せる提案内容であったか。	10
		地域資源を活かしたビジネス創出のみならず、生物多様性保全の観点も踏まえた適切な提案内容となっているか。	10
		ビジネスモデルに繋がるような、具体的なマッチング能力が期待できるか。	10
	実現性	実施方法等が具体的で、実現性があるか。	10
	独創性	提案事業者のノウハウや知識を活かした創意工夫が見られ、効果が見込める提案がなされているか。	20
業務実績	業務実績	本業務と同種業務の実績があるかどうか、実績内容・成果が本業務にふさわしいものか。	10
小 計			100
府内企業	本拠・拠点の所在	・提案者の本拠・事業拠点が府内にあるかどうか。	5
経 費	経費見積	満点（15点）×（提案価格のうち最低価格/自社の提案価格）	15
総合点			120

※上記項目のうち、「府内企業」及び「経費」については、客観的評価項目として自然環境保全課で採点を行い、「全体評価」、「提案項目」及び「業務実績」については、外部有識者が採点及び意見陳述を行った上で、その取りまとめ（平均点の算出等）を自然環境保全課で行う。